

# 第10回 ARRN(アジア河川・流域再生ネットワーク)国際フォーラム

企画グループ サブリーダー／日本河川・流域再生ネットワーク事務局 後藤 勝洋

2013年9月10日(火)、ARRN(アジア河川・流域再生ネットワーク)主催行事『第10回水辺・流域再生に関わる国際フォーラム』が中国成都市にて開催されました。ARRNとは、アジア諸国における河川再生に関する情報交換を目的とした組織として、2006年に設立され、国際フォーラムを毎年開催しています。今回のフォーラムでは、「中小河川における包括的管理」をテーマに、中国・韓国・日本から、河川再生に関する先進的な取り組みや課題が紹介され、会場全体での討議が行われました。

## 第10回 アジア水辺・流域再生に関わる国際フォーラム

- (1) 日時：2013年9月10日(火)13:30~17:00
- (2) 場所：インターコンチネンタル センチュリー シティ 成都 (中国成都市)
- (3) 主催：アジア河川・流域再生ネットワーク  
中国河川・流域再生ネットワーク
- (4) テーマ：中小河川における包括的管理  
(Comprehensive Treatment of Small & medium-sized rivers)
- (5) プログラム：
  - 13:30-13:50 開会挨拶等
  - 13:50-14:30 李建華 (中国・同済大学 教授)  
講演題目：魚類の生息地研究からの河川再生へのインスピレーション  
(Inspirations to river restoration from fish habitat studies)
  - 14:30-15:10 土屋信行  
(公益財団法人リバーフロント研究所 技術参与・日本)  
講演題目：日本における失われた河川の再生  
(Restoration of once-lost urban river - Focused on the case in Edogawa city, Tokyo Japan)
  - 15:40-16:20 YongUk Ryu (韓国・Daejin 大学)  
講演題目：運河再生の応答予測と適用性分析  
(Channel response prediction for abandoned channel restoration and applicability analysis)
  - 16:20-17:00 Xiaosong Wang (中国・IWHR 教授)  
講演題目：小河川の再生事例調査とレビュー  
(Case survey and review on the restoration of small river)
  - 17:00-17:10 閉会

### 講演1：「魚類の生息地研究からの河川再生へのインスピレーション」(李建華 同済大学 教授・韓国)

中国を横断する大河、長江では、特に下流や支川における水質悪化が問題視されており、漁による乱獲などの影響も相まって、魚類の多様性が脅かされています(Tiaoxi 河での魚類調査では、1年間で15種216個体

から、6種20個体まで激減)。北 Tiaoxi 河では、魚類の多様性の高い生息地と河道特性(流速、水深、底質など)に明確な関係が見られ、このような中小河川(支川)では、無秩序な河川改修を避け、魚類の多様性の高いホットスポットを保全することが求められます。

### 講演2：「日本における失われた河川の再生」(JRRN 代表・日本)

東京都の江戸川区では、1900年代当時、総延長440kmの河川・水路がありましたが、現在ではその多くが埋め立てられ、約28kmが残されるのみです。江戸川区では、住民の生活と密接な関係のあった、かつての親水空間を再生するため、日本で最初の親水河川整備がなされました。河川に流れ込む生活排水を切り離す下水道を整備した上で親水整備に着手し、再生した河川に市民が戻りました。現在でも、市民団体が自然観察や清掃活動を行っており、川をより良くする取り組みに積極的に関わっています。

### 講演3：「運河再生の応答予測と適用性分析」(YongUk Ryu 氏 Daejin 大学・韓国)

韓国では、河川改修の結果、氾濫原の減少や生態系への影響、並びに、蛇行河川の減少や本川から切り離された旧河道などが問題視されています。そこで、旧河道の再生に着目し、米陸軍工兵隊(U.S.Army Corps of Engineers)のSAMモデルを用いた解析により、本川が安定するための旧河道の河道諸元(川幅、水深、構内)の予測を行い、将来の河道デザインを決める有効な結果が得られました。

### 講演4：「小河川の再生事例調査とレビュー」(Xiaosong Wang 教授 IWHR・中国)

中国では、中小河川の再生を重点施策として位置づけ、治水と環境保全の両立に着目した手引きを発行、2009~2015年で5,174の中小河川を対象とした再生プロジェクト(総延長67,500km、予算1,860億元)を進めています。河川再生に関する経験や成功例を集約し、今後のプロジェクトに反映するため、4つの地域(安徽省、湖南省、浙江省、山西省)で事例調査を行っており、現地状況と技術レベルを考慮して河川再生のアプローチを定めること、自然の営力を活用して本来の水循環を回復させること、などの教訓が示されました。

本フォーラムの各講演資料は以下のホームページよりダウンロードできます。

<http://jp.a-rr.net/jp/activity/public/234>